

さいたま教区宣教司牧評議員の皆様

2010年7月11日

さいたま教区

司教 谷 大二

司教諮問

さいたま教区は1999年に開かれた司祭大会において別紙のさいたま教区のビジョン「すべての人々、特に小さくされている人々と共に福音を」を策定しました。このビジョンはさいたま教区の8つの優先課題を示しています。(別紙資料参照)

さいたま教区としてこの優先課題に10年間取り組んできましたが、ここでこの優先課題を振り返り、見直しを行なうことにしました。

この見直しと振り返りの作業は次の手順で行なうことにします。

2010年6月さいたま教区司牧者大会(司祭、助祭、修道者、信徒宣教者)で、振り返りと見直しを行う。司牧者評議会でもまとめ、答申する。

宣教司牧評議会(信徒)と言語別信徒による振り返りと見直しを行う。(2010年7月~2011年1月)

二つの答申を合わせて、司牧者評議会は最終的な「さいたま教区の優先課題」(仮称)を策定し、2011年6月の司牧者大会のときに司教に答申する。

そこで、新しい宣教司牧評議委員と言語別信徒に以下の3点を諮問します。

- A. ビジョン、優先課題について信徒が知っていたか、理解されていたか
- B. それぞれの課題についての達成度や意識浸透に対する評価
- C. 優先課題の見直し(組み直し、新しい課題の追加、展望など)の提案

まとめの手順は次のようお願いします。

宣教司牧評議員は小教区やブロック会議などで諮問について話し合い、それを参考に評議員個人の考えでまとめる。A4 1枚程度。全員の答申を2011年1月の宣教司牧評議会(1泊2日)で分かち合う。

言語別信徒については、オープンハウスのスタッフが各言語別の信徒を2~4名選ぶ。選ばれた人は言語別のグループで話し合って、A4 1枚程度にまとめる。全員の答申を2011年1月の宣教司牧評議会(1泊2日)で分かち合う。なお、この諮問の各言語の翻訳文は7月中に作成し、オープンハウススタッフから配布する。宣教司牧評議会の分かち合いの結果を運営委員が4月までにまとめて、司教に答申する。

以上

